

科目別シラバス

事業者名 株式会社ケア・ドゥ

研修事業の名称 湘南ケアスクール 介護職員初任者研修 通信コース

1 職務の理解 (6 時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
1 ①多様なサービスの理解	3 時間	<p>《講義内容》</p> <p>介護保険サービス（居宅・施設）と介護保険外サービスについて</p>
1 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解	3 時間	<p>《講義内容》</p> <p>居宅・施設の多様な働く現場における仕事内容について</p> <p>実際のサービス提供現場の具体的なイメージについて、現場職員の体験談などを交えての講義</p> <p>ケアプランの作成に始まりサービス提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ・多職種の連携・介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携について</p> <p>《演習内容》</p> <p>研修への意気込み、目標設定や今後の課題等をグループワーク形式で設定し、発表を行う</p>
合計	6 時間	

2 介護における尊厳の保持・自立支援 (9 時間)					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
2①人権の尊厳を支える介護	6 時間	2 時間	4 時間	1~11	<p>《講義内容》</p> <p>人権と尊厳の保持について 介護分野における ICF について QOL の考え方、生活の質について ノーマライゼーションの考え方について 身体拘束禁止、高齢者虐待防止法について 個人の人権を守る（成年後見制度、日常生活自立支援制度など）制度の概要について</p> <p>《通信学習課題の内容》</p> <p>人権と尊厳の保持について 介護分野における ICF について ノーマライゼーションの考え方について 身体拘束禁止、高齢者虐待防止法について 個人の人権を守る制度（成年後見制度、日常生活自立支援制度など）の概要について</p>
2②自立に向けた介護	3 時間	1 時間	2 時間	12~16	<p>《講義内容》</p> <p>自立支援について 介護予防について</p> <p>《演習内容》</p> <p>利用者の残存機能を効果的に活用しながら、自立支援や重度化の防止・遅延化に向けたケアの方法について、受講生同士がディスカッションを行う</p> <p>《通信学習課題の内容》</p> <p>自立支援について 介護予防について</p>
合計	9 時間	3 時間	6 時間		

3 介護の基本 (6時間)					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
3①介護職の役割、専門性と多職種との連携	2時間	1時間	1時間	17～20	《講義内容》 介護環境の特徴の理解 介護の専門性について 介護に関する職種について 多職種の連携について 《通信学習課題の内容》 介護環境の特徴の理解 介護の専門性について 介護に関する職種について 多職種の連携について
3②介護職の職業倫理	1時間	0.5時間	0.5時間	21～24	《講義内容》 職業倫理について 《通信学習課題の内容》 職業倫理について
3③介護職における安全の確保とリスクマネジメント	2時間	1時間	1時間	25～29	《講義内容》 介護職における安全の確保とリスクマネジメントについて 事故予防、安全対策について 感染対策について 《演習内容》 事故に繋がるケーススタディを示し、それを防止する手段として受講生同士がディスカッションを行う 《通信学習課題の内容》 介護職における安全の確保とリスクマネジメントについて 事故予防、安全対策について 感染対策について
3④介護職の安全	1時間	0.5時間	0.5時間	30～32	《講義内容》 介護職の健康管理について ストレスマネジメントについて 腰痛予防に関する知識について 感染予防対策について 《通信学習課題の内容》課題番号(3) 介護職の健康管理について ストレスマネジメントについて 腰痛予防に関する知識について
合計	6時間	3時間	3時間		

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (9 時間)					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
4①介護保険制度	3 時間	1 時間	2 時間	33～ 39	《講義内容》 介護保険制度創設の背景および目的、動向 について 介護保険制度の仕組みの基礎的理解 制度を支える財源、組織、団体の機能と役 割 《通信学習課題の内容》 介護保険制度創設の背景および目的、動向 について 介護保険制度の仕組みの基礎的理解 制度を支える財源、組織、団体の機能と役 割
4②医療との連携とリハビリ テーション	3 時間	1 時間	2 時間	40～ 45	《講義内容》 医療行為と介護について 訪問看護について 施設における看護と介護の役割、連携につ いて リハビリテーションの理念について 《演習内容》 自動血圧測定器による血圧測定の実施 《通信学習課題の内容》 医療行為と介護について 施設における看護と介護の役割、連携につ いて リハビリテーションの理念について
4③障害者自立支援制度およ びその他制度	3 時間	1 時間	2 時間	46～ 54	《講義内容》 障害者福祉制度の理念について 障害者総合支援制度の仕組みの基礎的理解 について 個人の権利を守る制度（生活保護制度、成 年後見制度、日常生活自立支援制度、虐 待防止制度等）の概要について 《通信学習課題の内容》 障害者福祉制度の理念について 障害者総合支援制度の仕組みの基礎的理解 について 個人の権利を守る制度（生活保護制度、成 年後見制度、日常生活自立支援制度、虐 待防止制度等）の概要について
合計	9 時間	3 時間	6 時間		

5 介護におけるコミュニケーション技術 (6時間)					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
5①介護におけるコミュニケーション	3時間	1.5時間	1.5時間	55～ 60	<p>《講義内容》</p> <p>介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割についての理解</p> <p>コミュニケーション技法、道具を用いた言語的コミュニケーションについての理解</p> <p>利用者・家族とのコミュニケーションの実際について</p> <p>利用者の状況に応じたコミュニケーション技術の実際について</p> <p>《演習内容》</p> <p>2人1組に双方向と一方向のコミュニケーション体験実施。テキストに載っているワークの実施。</p> <p>《通信学習課題の内容》</p> <p>介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割についての理解</p> <p>コミュニケーション技法、道具を用いた言語的コミュニケーションについての理解</p> <p>利用者・家族とのコミュニケーションの実際について</p> <p>利用者の状況に応じたコミュニケーション技術の実際について</p>
5②介護におけるチームコミュニケーション	3時間	1.5時間	1.5時間	61～ 65	<p>《講義内容》</p> <p>記録における情報の共有化について</p> <p>報告、連絡、相談の留意点について</p> <p>コミュニケーションを促す環境について</p> <p>《演習内容》</p> <p>テキストに載っている場面を用いて記録の書き方と留意点を踏まえて記録を書く</p> <p>《通信学習課題の内容》</p> <p>記録における情報の共有化について</p> <p>報告、連絡、相談の留意点について</p>
合計	6時間	3時間	3時間		

6 老化の理解 (6 時間)					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
6 ①老化に伴うこころと身体 の変化と日常	3 時間	1.5 時間	1.5 時間	66～ 70	<p>《講義内容》 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴について 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響について</p> <p>《演習内容》 老化に伴う身体機能の低下を体験するため、身体に不可をかけた状態で日常生活行動を試みる</p> <p>《通信学習課題の内容》 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴について 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響について</p>
6 ②高齢者と健康	3 時間	1.5 時間	1.5 時間	71～ 75	<p>《講義内容》 高齢者の疾病と生活上の留意点について 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点について</p> <p>《通信学習課題の内容》 高齢者の疾病と生活上の留意点について 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点について</p>
合計	6 時間	3 時間	3 時間		

7 認知症の理解(6 時間)					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
7 ①認知症を取り巻く状況	2 時間	1 時間	1 時間	76～ 78	《講義内容》 認知症ケアの理念について 《通信学習課題の内容》 認知症ケアの理念について
7 ②医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理	2 時間	1 時間	1 時間	79～ 83	《講義内容》 認知症ケアの概念について 認知症の原因疾患とその病態について 原因疾患別ケアのポイントについて 健康管理について 《通信学習課題の内容》 認知症ケアの概念について 健康管理について
7 ③認知症を伴うこころとからだの変化と日常生活	1.5 時間	0.5 時間	1 時間	84～ 88	《講義内容》 認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴について 認知症の利用者への対応について 《演習内容》 認知症の利用者のケーススタディを示し、受講者が対応を体験する 《通信学習課題の内容》 認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴について 認知症の利用者への対応について
7 ④家族への支援	0.5 時間	0.5 時間	0 時間		《講義内容》 認知症の受容の家庭での援助 介護負担の軽減（レスパイトケア）について
合計	6 時間	3 時間	3 時間		

8 障害の理解 (3 時間)					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
8①障害の基礎的理解	1.5 時間	0.5 時間	1 時間	88～ 91	《講義内容》 障害の概念と ICF について 障害者福祉の基本理念について 《通信学習課題の内容》 障害の概念と ICF について 障害者福祉の基本理念について
8②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1 時間	0.5 時間	0.5 時間	92～ 96	《講義内容》 身体障害について 知的障害について 精神障害について 《演習内容》 用具を用いて、視覚障害の疑似体験等を行う 《通信学習課題の内容》 身体障害について 知的障害について 精神障害について その他の心身の機能障害について
8③家族の心理、かかわり支援の理解	0.5 時間	0.5 時間	0 時間		《講義内容》 家族への支援について
合計	3 時間	1.5 時間	1.5 時間		

9 こころとからだのしくみと生活支援技術 (75 時間)						
基本知識の学習	項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
	9①介護の基本的な考え方	2 時間	2 時間	0 時間		《講義内容》 倫理に基づく介護 法的根拠に基づく介護
	9②介護に関するこころのしくみの基礎的理解	2 時間	2 時間	0 時間		《講義内容》 学習と記憶の基礎知識について 感情と意欲の基礎知識について 自己観念と生きがいについて 老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害因子について こころの持ち方が行動に与える影響について からだの状態がこころに与える影響について
	9③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	6 時間	6 時間	0 時間		《講義内容》 人体各部の名称と動きに関する基礎知識について バイタルサインについて 骨、関節、筋に関する基礎知識、ボディメカニクスの活用について 中枢神経と体性神経に関する基礎知識について 自律神経と内部器官に関する基礎知識について こころとからだを一体的に捉える 利用者の様子の普段との違いに気づく視点について
演習 生活支援技術の講義・	9④生活と家事	5 時間	5 時間	0 時間		《講義内容》 家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識と生活支援について 《演習内容》 家事援助の一環として、身近な食材でつくられる調理実習を実施

	9 ⑤快適な居住環境整備と介護	4 時間	3 時間	1 時間	97 ~ 100 《講義内容》 快適な居住に関する基礎知識について 高齢者、障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法について 《演習内容》 ベッド周りの環境整備、福祉用具を実際に活用し、多様な介護方法を学ぶ 《通信学習課題の内容》 快適な居住に関する基礎知識について 高齢者、障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法について
	9 ⑥整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7 時間	6 時間	1 時間	101 ~ 104 《講義内容》 整容にかんする基礎知識、整容の支援援助について 《演習内容》 衣服の着脱、身体清潔・口腔ケアの方法を実技演習する 《通信学習課題の内容》 整容にかんする基礎知識、整容の支援援助について
	9 ⑦移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7 時間	6 時間	1 時間	105 ~ 112 《講義内容》 移動・移乗に関する基礎知識、さまざまな移動・移乗に関する用具とその活用方法、利用者・介護者にとって負担の少ない移動・移乗を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法、移動と社会参加の留意点と支援について 《演習内容》 ベッド・車椅子への移乗方法、ベッド上での体位変換、さまざまな移動方法、多様な車椅子に対しての操作方法や肢体不自由者の歩行介助、視覚障害者の歩行介助の方法について体験 《通信学習課題の内容》 移動・移乗に関する基礎知識、さまざまな移動・移乗に関する用具とその活用方法、利用者・介護者にとって負担の少ない移動・移乗を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法、移動と社会参加の留意点と支援について

<p>9⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>9時間</p>	<p>9時間</p>	<p>0時間</p>	<p>《講義内容》 食事に関する基礎知識、食事環境の整備、食事に関連した用具・食器の活用方法と食事形態とからだのしくみ、楽しい食事を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法、食事と社会参加の留意点と支援について</p> <p>《演習内容》 自助具を使用した自立支援を目指した食事摂取方法や食事介助に関する実技を行う</p>
<p>9⑨入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>7時間</p>	<p>6時間</p>	<p>1時間</p>	<p>113～118</p> <p>《講義内容》 入浴・清潔保持に関連した基礎知識、さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法、楽しい入浴を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法について</p> <p>《演習内容》 足浴・手浴・洗髪・清拭等の実技演習。入浴にあたっての福祉用具を実際に活用し、入浴介助技術を学ぶ。</p> <p>《通信学習課題の内容》 入浴・清潔保持に関連した基礎知識、さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法、楽しい入浴を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法について</p>
<p>9⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>7時間</p>	<p>6時間</p>	<p>1時間</p>	<p>119～123</p> <p>《講義内容》 排泄に関する基礎知識、さまざまな排泄環境設備と排泄用具の活用方法、爽快な排泄を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法について</p> <p>《演習内容》 安全で安心、プライバシーの保護等を考えた個々に合わせた排泄介助方法をグループワークにて話し合う。ポータブルトイレの使用等自立に向けての考え方を考慮した介助方法の実施。オムツ交換の実施。</p> <p>《通信学習課題の内容》 排泄に関する基礎知識、さまざまな排泄環境設備と排泄用具の活用方法、爽快な排泄を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法について</p>

	9 ⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	5 時間	5 時間	0 時間	《講義内容》 睡眠に関する基礎知識、さまざまな睡眠環境と用具の活用方法、快い睡眠を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法について 《演習内容》 ベッドメイキングの実施
	9 ⑫死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	2 時間	2 時間	0 時間	《講義内容》 終末期に関する基礎知識とところとからだのしくみ、生から死への過程、『死』に向き合うところの理解、苦痛の少ない死への支援について 《演習内容》 教科書の演習についてグループディスカッションを行う。（講師の実体験をベースに受講生へアドバイスしてもらう）
生活支援技術演習	9 ⑬介護過程の基礎的理解	3 時間	《演習内容》 介護計画、個別支援計画の策定に関する演習を実施		
	9 ⑭総合生活支援技術演習	5 時間	《演習内容》 事例に基づき利用者の状態像を想定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身状況に合わせた介護を提供する視点の習得 ○事例は高齢（要支援2程度、認知症、片麻痺、座位保持不可）の4事例より2事例を選択して実施 ○事例の提示⇒ところとからだの力が発揮できない要因の分析⇒適切な支援技術の検討⇒支援技術演習⇒義捐技術の課題（1事例1.5時間程度で上記サイクルを実施）		
実習		4 時間	次の組み合わせから受講者が選択して実施 ・通所実習4時間 / 訪問介護実習4時間		
	合計	75 時間			
10 振り返り（4時間）					
	項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法		
	10 ①振り返り	2 時間	《演習内容》 初任者研修を通じて学んだこと、今後も継続して学んでいきたいことについて各自が発表し、グループディスカッションを行う。その際、理解不十分な点や確認したい点などを洗い出し、しっかり理解できるように復習する。		
	10 ②就業への備えと研修終了後における事例	2 時間	研修終了後における継続的な研修について、具体的にイメージできるような事業所等における事例（Off-JT、OJT）を紹介する 《演習内容》 介護現場のDVD教材を鑑賞し、グループディスカッションを行う。		
	合計	4 時間			
	全カリキュラム合計時間		130 時間		

※規定時間数以上のカリキュラムを組んでもかまわない。

※本研修で独自に追加した科目には、科目名の前に「追加」と表示すること